

夢 塾 だ よ り

～ 『ドラゴン桜』に学ぶ ～

(第47号) 令和3年6月28日



人気TVドラマ「ドラゴン桜」昨日が最終回でした。私は、第1話から第10話まで全部見てしまいました。

『ドラゴン桜2』は、『ドラゴン桜1』の続編で「1」では、経営難の3流私立校といわれる龍山（りゅうざん）高等学校から東大合格者を7名出すという物語で、「2」では、自由な校風を掲げる新理事長の方針で放任状態となり、3年で崩壊寸前となった龍海（たつみ）学園高等学校を舞台に、桜木先生が生徒たちに向き合い東大合格者を5人出す物語です。

番組を見ている中で、私の琴線に触れた桜木先生の言葉をあげてみます。

- 教師の仕事は、生徒の中に眠っている好奇心を刺激してやることだ。
- 教師は生徒の可能性を認めて信じてあげることだ。
- 競争心に火がつかないやつは受験には勝てない。
- 間違いを恐れるな。一度間違えたほうが記憶に残る。
- 数学のテストはまず、言葉で方針を書く。自分はこういう風に考えてこうすれば解けるという道筋を書く。
- 勉強は飛行機と同じ。走っているときは平行だがいつかふわっと上がる。
- 勝者と敗者の言い訳の違いは、たまたま間違っただけだとミスを他人のせいにするのが敗者。勝者はミスを自分のせいだと認めそれを次に生かす。
- 受験勉強で大切なことは、たとえ敗れても目標に向かって努力した時間と、仲間への思いだ。
- 受験当日は周りを気にせず自分に集中する。
- 自分の人生を他人任せにせず、自分で決める。
- 復讐なんてものは誰も幸せにはしない。
- 受験で必要なことは、一日一日を無駄に過ごすか、1分1秒にベストを尽くすかだ。
- （東大に合格したみんなへ）これからは、まっすぐな思いで突き進み自分の信じる道を行け。

私も受験生の傍らで彼らを見守る仕事をしています。桜木先生の言葉は必ずしも東大受験生だけではなく、自分の目指す大学や大切な進路、そして人としての生き方を決めるうえでとてもいい言葉です。週に一度の楽しみでした。